

諫早市(九州・沖縄ブロック)

【2期 計画期間 平成26年4月～32年3月】

・江戸期：長崎街道の分岐点で、陸路や海上航路が集中・通過する交通の要衝として栄えた。
 ・明治期：野口寧斎が図書館の重要性を説き、諫早文庫(諫早図書館)が設立された。
 ・戦後期：昭和32年に未曾有の大水害起こり、被害のなかった永久不滅の眼鏡橋は、石橋として日本で第一号の重要文化財の指定を受け、本市最大の観光資源である。
 ・現在：九州新幹線(西九州ルート)の計画との整合性を図りながら都市計画に取り組んでいる。
 人口約13万人 市域約321.26km²

【1期計画の概要】

○本明川に形成された南北に細長い中心市街地であり、南北を繋ぐ公共交通機関の見直し、2つのゾーンの商店街区の連携強化、市民ニーズの高い大型商業施設を再開発地区へ誘致することによるまちの賑わいを目指す。(H20年7月～H25年9月)

【中心市街地の変化】

- 1期計画の事業により、市役所周辺の中心部を整備をしたことで、都市機能が集積し利便性が向上したものの、核事業である再開発事業が遅れたことで目標値の達成に至っていないことから、引続き再開発事業を進める。
- 島原鉄道運行ダイヤ改善事業等で目標は達成できたものの、乗降客数が増加した効果を商店街に波及させるまでに至っていないことから対応が必要。
- 九州新幹線西九州(長崎)ルートの開通を睨み諫早駅周辺整備計画が明らかになったことによって、益々民間投資が推進され居住者の増加が見込まれる。

【目指す中心市街地像】

○「暮らしのなかに、つながりを実感できる街」

■ 1期計画の目標

目標	指標	基準値	目標値(H24)	現況値
賑わうまち ～魅力的で、来たくなるまちづくり～	中央商店街 歩行者通行量 (休日、4地点)	8,330人 (H19)	11,300人 (H24)	6,382人 (H24)
ひとが集うまち ～来やすいまちづくり～	島原鉄道本諫早 駅の乗降客数	30.41万人 (H18)	36.12万人 (H24)	41.4万人 (H24)
安心して生活できるまち ～住みたくなるまちづくり～	居住人口	3,421人 (H19)	3,700人 (H24)	3,574人 (H24)

■ 2期計画の目標

目標	指標	基準値	目標値(H31)
賑わうまち ～魅力的で、来たくなるまちづくり～	中央商店街 歩行者通行量 (平日、4地点)	8,015人 (H24)	9,200人
ひとが集うまち ～来やすいまちづくり～	島原鉄道 (諫早駅+本諫早 駅の乗降客数)	126.6万人 (H24)	134.0万人
安心して生活できるまち ～住みたくなるまちづくり～	居住人口	3,574人 (H24)	3,700人

賑わうまち

～魅力的で、来たくなるまちづくり～

【主要事業】

- ・栄町東西街区市街地開発事業
- ・個店の魅力アップ支援事業
- ・中心市街地賑わい創出支援事業
- ・まちづくり協定支援事業

など

ひとが集うまち

～来やすいまちづくり～

【主要事業】

- ・バス運行路線改善検討事業
- ・諫早駅情報発信多目的広場整備事業
- ・諫早駅東西自由通路整備事業
- ・高城上町線道路整備事業

など

安心して生活できるまち

～住みたくなるまちづくり～

【主要事業】

- ・こども準夜間診療センター事業
- ・子育て支援センター運営事業
- ・公園事業 上山公園(諫早公園広場)
- ・民間保育所施設整備事業

など

第2期諫早市中心市街地活性化基本計画の事業概要

賑わうまち ～魅力的で、来たくなるまちづくり

①栄町東西街区市街地開発事業

中央商店街の大型店舗を含む街区を再開発し、市民ニーズに対応した商業施設等を誘致し、商業拠点の形成を図る。



②個店の魅力アップ支援事業

個店の売り場づくりや接客・サービス、販売促進等に関するノウハウ、知識の共有を行い、人材育成、組織力の向上を図る。

③中心市街地賑わい創出支援事業

商店街主催により、まちなかで集客力のあるイベントを開催することで、賑わいを創出するとともにイメージアップを図る。

ひとが集うまち ～来やすいまちづくり

④バス運行路線改善検討事業

中心市街地の利便性向上と回遊性を高めるため、バス利用の促進に向けた調査検討を行い、道路拡張に併せて利便性を高める。

⑤諫早駅情報発信多目的広場整備事業

本市と島原半島3市（雲仙市、島原市、南島原市）が協働し、広場にて物産販売や観光等の情報発信を行い、人の回遊性と集客力を高める。



⑥諫早駅東西自由通路整備事業

駅東西の通路を整備し、連絡性を向上させ人の回遊性を高める。

安心して生活できるまち ～住みたくなるまちづくり～

⑦こども準夜間診療センター事業

総合病院内にて、夜間における小児初期救急診療体制の充実を図り、保護者の育児面の安心と子育て支援を行う。

⑧子育て支援センター運営事業

空き店舗を活用して幼児保育及び親に対する相談等支援を行うことで、居住者の福祉及び利便性の向上を図る。

⑨公園事業 上山公園（諫早公園広場）

諫早公園城山のエントランス部分の整備を行うことで、公園の快適性を高めることにより、利用する人の回遊性を高める。

